



あなたの活動＝ ベストプラクティス

様々な地域で展開されている優れたケーブル・コミュニケーション活動を讃え、認知向上と各社の活動内容の共有を進めるために、今年も各部門における施策・作品を広く募集し、表彰いたします！

応募条件

各部門とも、2015年4月～2016年3月に使用・放映・実施したものを応募対象とします。参加社は一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟の正会員オペレーターとします。参加費は無料。

作品募集!

他薦もあり

エントリー部門

チラシ部門

NET(モバイル・ウェブ)部門

CM(映像)部門

グッドプラクティス部門

各賞

👑 グランプリ
👑 特別賞

👑 準グランプリ
👑 ケーブル・チョイス賞
(ケーブル局員投票)

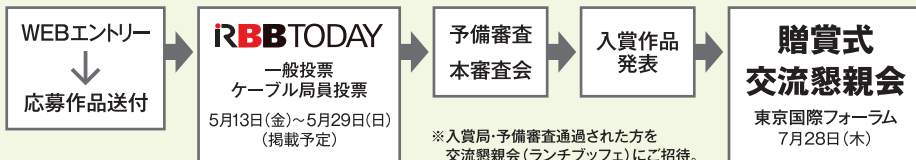
👑 優秀賞(各部門)
👑 RBB TODAY賞
(一般投票)

エントリー期間

2016年4月1日(金)～4月20日(水)

応募は、まずホームページ「ケーブル・アワード2016」内にある「WEBエントリーシート」に必要事項を入力し送信

審査スケジュール



ご応募の詳細は、公式ホームページ →

ケーブル・アワード2016

検索

オリンピック・イヤーである今年は、“スポーツ・健康”に関連した作品・取り組みよりアンバサダーが特別賞を選定し、表彰します。



ケーブル・アワード2016アンバサダー

杉山 愛氏

スポーツコメンテーター
元プロテニスプレーヤー

👑
贈賞式に
登場!

【プロフィール】

4歳でラケットを握り、15歳で日本人初の世界ジュニアランキング1位に輝く。17歳でプロに転向し、34歳まで17年間のプロツアーを転戦。オリンピックには4回連続(アトランタ、シドニー、アテネ、北京)出場。杉山愛ジュニア育成基金を立ち上げ、16歳以下の女子選手をサポートする「Road to Grand Slam」プロジェクトを始動させている。

【主なお仕事】「テニスグランドスラム中継」スペシャルコメンテーター(WOWOW)「めざせ! 2020年のオリンピック/パラリンピック」ナビゲーター(NHK) など

【お問い合わせ】



日本ケーブルテレビ連盟

award@catv.or.jp

ケーブル・アワード2016 第9回 ベストプラクティス プロモーション 大賞

【エントリーのご案内】



ケーブル・アワード 2016

第9回 ベストプロモーション大賞

応募要項

応募資格

応募社は一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟の正会員オペレータとします。
共同企画の場合は、原則、複数の連盟会員社による応募とします。参加費は無料。

応募部門

1 チラシ部門

折込チラシ、新聞・雑誌広告、交通広告、DM、パンフレット等の加入促進の為の紙媒体、ポスター(自社番組・イベント・キャンペーン等)、加入者向けガイド誌

2 CM(映像)部門

テレビCM(自社のCMに限る)、
WEBサイト等での映像配信、インフォマーシャル動画等
※但し、連盟製作のケーブルスマホ共通CMは除きます。

3 NET(モバイル・ウェブ)部門

自局のホームページ、SNSや独自アプリ・LINEスタンプ等を用いたイベント、キャンペーン、WEB広告(ランディングページ、ディスプレイバナー)やNETを介したスマホ・タブレットなどモバイルサービスの事例

4 グッドプラクティス部門

上記以外のユニークなプロモーション(他媒体とのメディアミックス、キャラクター販促等)や先進的技術を利用した取組み、地域と連携した取組み、社会貢献活動等の取組み事例

賞の種類

👑 グランプリ (副賞 20万円)	—————	全部門から1点
👑 準グランプリ (副賞 10万円)	—————	全部門から1~2点
👑 特別賞 (副賞 5万円)	—————	“スポーツ・健康”に関連した作品、取組みから1点(アンバサダーによる選定)
👑 優秀賞 (副賞 5万円)	—————	各部門ごとに数点
👑 RBB TODAY賞	—————	一般のWEB投票結果から1点
👑 ケーブル・チョイス賞	—————	ケーブル局員のWEB投票結果から1点

スケジュール

4月1日~4月20日	WEBエントリー受付
4月25日	応募作品提出 締切
5月13日~5月29日	RBB TODAYのWEB投票サイトにて一般投票、ケーブル局員投票 実施予定
6月上旬	予備審査終了
6月17日	本審査会審査員、アンバサダーにより入賞作品を決定
~7月上旬	入賞局へご案内、予備審査を通過した局へ交流懇親会のご案内

贈賞式・交流懇親会

各賞の発表は、下記の「ケーブルコンベンション2016」開会式典会場にて行います。
入賞局の方は、当日贈賞式へご出席、ご登壇(1名)下さいますようお願いいたします。
入賞局および予備審査を通過された作品の応募者1名は、交流懇親会に無料ご招待いたします。

7月28日(木)	開会式・贈賞式典 (東京国際フォーラム D7ホール)	午前予定
	交流懇親会 (東京国際フォーラム内 レストラン『レバンテ』)	ランチビュッフェ

対象期間

各部門とも、2015年4月～2016年3月の期間に使用・実施・放映したものを対象とします。但し、NET部門・グッドプラクティス部門は、2015年4月以前からサービス開始した取組みで、現在も継続中かつ過去に本大賞に応募がなかった場合は対象となります。

応募方法

▶ WEBエントリー

締切 2016年4月20日(水)

【必須】 まず、WEBエントリーをお願いします。応募作品が複数ある場合は、1作品ごとにエントリーが必要です。下記URLをクリックして、必要事項をご入力の上、送信してください。

《エントリーページ》 ※4月1日より受付開始 <https://reg26.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=pfp-natet-0fe9f423d0e49744a42a02ecd044860a>

▶ 他薦(ご紹介)いただく場合

締切 2016年4月13日(水)

自社以外で、推奨いただける事例がございましたら、事務局まで 専用の用紙にご紹介頂ける事例等をご記入頂き、送付ください。事務局より当該オペレータに連絡をして、応募を依頼させていただきますので、他薦(ご紹介)頂く時点で内諾は必須ではございません。

《送付先》 E-mail : award@catv.or.jp TEL : 03-3566-8200

応募提出物

WEBエントリー完了後、応募作品を事務局へ送付願います。 **締切** 2016年4月25日(月) 必着

重要 インターネットで一般公開されます。提出物で使用する作品の中の出演者や第三者の肖像権やプライバシーの権利を侵害することのないように注意してください。個人情報の記載にもご留意ください。

1 チラシ部門 (1社2作品まで応募可、シリーズものは1作品として扱う)

現物を1作品につき、2部郵送。(折曲厳禁)
WEB掲載用の画像データを、メールで送付。
画像データは表裏で2枚とし、合計4枚以内を1作品として送付。

2 CM(映像)部門 (1社2作品まで応募可、シリーズものは1作品として扱う)

1作品120秒以内のMOVIEデータにてメールで送付。ファイル転送サービス利用可。
タイトル・本編以外の部分は編集にてカットして下さい。
複数のシリーズ作品は、120秒以内につないで1作品として送付して下さい。
作品の画像データ(1作品1枚)もメールでお送りください。

注意 連盟AJC-CMSのアップロードによる映像素材の受付は致しません。

3 NET(モバイル・ウェブ)部門

企画概要、イメージ図などをパワーポイント資料4枚以内にまとめてメールで送付。
当該WEBページのスクリーンショットの画像データ(1作品1枚)も送付。

4 グッドプラクティス部門

企画概要、取組みの写真などをパワーポイント資料4枚以内にまとめてメールで送付。
【任意】 現物・参考資料映像(MOVIEデータ、1作品5分以内)等があれば、審査参考と致しますので、お送りください。 ※参考で送付された現物は返却いたしません。

画像データ

形式

JPEG

解像度

300dpi
以上

MOVIEデータ

形式

WMV

※尺や編集ルールは
各部門の説明を確認

応募に関する注意事項

- 1 応募作品は、応募社において企画、実施されたものに限りま。
- 2 共同企画の場合は、代表1社が応募を行い、WEBエントリーの際に、他の共同企画の社名をご記入下さい。
ただし、複数社による応募作品が受賞した場合、表彰、副賞等は1社分とさせていただきます。
- 3 全ての作品は、RBB TODAYのWEBサイト上に掲載し、一般投票およびケーブル局員による投票を行います。
また、入賞作品は連盟ホームページ、ケーブルコンベンション会場展示、セミナー、業界紙、チラシ等印刷物でもご紹介させていただく予定です。
つきましては、全ての応募作品についてのインターネット上や展示会等での公開に関する著作権や肖像権等は、応募社側で処理をお願いいたします。
- 4 応募作品のパワーポイントに、個人情報特定される恐れのある氏名等の記載を残したまま、提出される場合があります。
WEBエントリーで連絡先等は提出されておりますので、担当者情報は削除した上で送付下さい。
- 5 応募作品、参考資料等は審査終了後も返却いたしません。

●開催概要や過去の作品等は連盟のホームページへ https://www.catv-jcta.jp/catv_award/2016/index.html

審査基準

《チラシ、CM、NET部門》 アイディア性、デザイン性、内容伝達性、総合完成度
《グッドプラクティス部門》 アイディア性、社会的貢献度、技術的優位性、業界影響度、総合完成度

審査員

敬称略・順不同



徳光 歩

総務省 情報流通行政局
衛星・地域放送課
地域放送推進室長



村井 知哉

(一社)日本広告業協会
専務理事



古川 柳子

明治学院大学
文学部芸術学科教授



福田 淳

ソニー
デジタルエンタテインメント
社長



渡辺 順子

(株)ビタミンママ
代表取締役社長



小坂 謙次

RBB TODAY編集部
編集長



一瀬 悦子

サテマガ・ビー・アイ(株)
代表取締役社長
※ケーブルテレビ記者会メンバー

関連イベント

ベストプロモーションフォーラム

『ケーブルコンベンション2016』無料セミナーとして開催を予定。
本無料セミナーの受付につきましては、6月上旬から事前登録開始予定の
『ケーブルコンベンション2016』ホームページをご覧の上、お申込み下さい。

テーマ「ケーブル局とソーシャルデザイン(仮)」

(株)電通
クリエイティブ・ディレクター

講師：並河 進

審査員の福田淳氏との
セッションも予定しております。

本件に関するお問合せ／応募作品提出先

(一社) 日本ケーブルテレビ連盟 ケーブル・アワード2016事務局

住所

〒104-0031
東京都中央区京橋1-12-5
京橋YSビル4F

TEL 03-3566-8200

FAX 03-3566-8201

E-mail award@catv.or.jp

